

高校1年生 学外授業（砂浜芸術）

5月8日（木）・5月9日（金）、高校1年生の芸術の授業で、高知市の長浜海岸へ行き、砂浜の空気、香り、風すべてを体感した中で創作活動（音楽は作詞、書道は砂や石で字を書く、美術はスケッチ）を行いました。



掲載写真は5月9日（金）撮影

砂浜での創作活動の基本的概念は、自然のもつ壮大なエネルギーから、生徒たちが自分たちの感性に新たなる刺激を受け、それを基にして創作する喜びを学ぶということにある。そのため長浜の砂浜から感じ取れる潮の香り、波の音、荘厳なる太平洋の広さから感じ取れる、申し分のない満喫できるものであったと思う。

生徒たちは、15分程度は好きなように自然と戯れていたが、その後は躰（からだ）を使い、あるいは思考し、感性をフルに使って制作に没頭していた。生徒たちが自ら動き、考え、一生懸命あるものを造っていかうとする姿は、やはり自然のエネルギーから触発されたものようで、こういったエネルギーを提供できる環境を作れば、生徒たちは能動的な思考と行動力を身に付けられるのかなと思ったのも事実である。

昨年同様この砂浜合同作業から、芸術科全体で生徒自らの手で音楽CDの制作—音楽、CDジャケットのイラスト制作—美術、CDのタイトル（題字）制作—書道 に向けて舵を取っていく。今回は、昨年度よりさらに進化したクオリティーの高い記念すべきCDが、年度末には高1生全体に、あるいは学校全体に公開できるよう計画を練っている。

（美術担当教員 西 悟）